



新田の歴史が彩る  
日本のふるさと

# つがる市 議会だより



2005 チェズボローカップ水泳駅伝

## 主な内容

平成17年度一般会計予算	..... P 2
「5つの約束」主要施策	..... P 4
予算特別委員会	..... P 6
一般質問 ここが聞きたい	..... P 9
常任委員会の審査	..... P 15
委員会の活動	..... P 17

第2号

平成17年8月発行

発行／つがる市議会  
編集／議会だより編集委員会

# 202億7,800万円

# 可決

## 市長提案要旨（抜粋）



福島市長

議長のお許しを得まして、平成17年5月24日にご逝去されました、つがる市議会議員相馬正治氏に対し、謹んで哀悼の意を表します。

それでは、本日ここに第2回つがる市議会定例会が開会され、各般にわたる議案について審議を願うに当たり、市政運営に関する所信を明らかにし、

提出議案の概要についてご説明申し上げ、議員各位並びに市民の皆様の深いご理解とご協力をお願い申しあげます。つがる市が発足してから早く4ヶ月が経過いたしましたが、新三役人事並びに特別参与制度についても議員各位のご承認をいただき、本定例会がまさに新体制での本格的なスタートとなることから、議員各位におかれましては、尚一層ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

この間、三ヶ月間の義務的経費を中心とした暫定予算のものと、事務事業を執行して参りま

したが、この度、かつてない厳しい財政状況下の中で、ようやく新年度の各会計本予算案の編成があいなりましたが、議員各位をはじめ、広く市民の皆様のご支援、ご協力をお願いする次第であります。

平成17年度つがる市一般会計予算案についてご説明いたしました。平成17年度予算の編成においては、本年2月11日につがる市が発足して初めての年間予算であり、つがる市建設計画のふるさと」と5つの約束「本理念「新田の歴史が彩る日本国」のブランドつがるへの取り組み」「農業振興への取り組み」「ひ

とづくりへの取り組み」「安心・快適・便利な地域社会への取り組み」「健全な行財政運営への取り組み」を念頭に置いて予算編成をしたところであります。しかし、5町村の合併により新しい市としてスタートすることになったものの、もともと財政基盤の脆弱なことに変わりなく、厳しい財政状況の下での予算編成となりましたが、市民生活の向上のために、そして、つがる市民として誇りが持てる新しい街づくりのために、最小の経費で最大の効果を生み出す予算となるよう努めた次第であります。

## 6月定例会

### 定例会の概要

平成17年第2回つがる市議会定例会が6月17日から6月30日まで、14日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成17年度一般会計予算202億7,800万円をはじめとする40議案、請願1件、陳情3件、発議6件について、慎重な審査が行われ、1議案については、閉会中の継続審査とすることとし、残る議案については、原案のとおり可決し、閉会しました。

### 17年度予算概要

つがる市となって、初めての年間予算が編成されました。

歳入面では、市税が対前年度比0.3%減の22億7,955万円、地方交付税は、前年度実績を基に福祉事務所設置に伴う運営に関する算定増を見込み、対前年度比11.2%増の95億2,000万円、繰入金については、財源不足に対処するため財政調整基金など1億6,560万円取り崩しました。

歳出面では、福祉事務所設置に伴い、これまで県が措置してきた生活保護費の負担により、民生費が対前年度比31.4%増の51億2,495万円、また、性質別にみると、人件費が対前年度比5%減の58億1,896万円となりました。

17年度の主要施策については、つがる市建設計画の基本理念「新田の歴史が彩る 日本のふるさと」と5つの約束を念頭に予算編成をしております。

### 5つの約束

1. 全国的ブランド「つがる」への取り組み
2. 農業振興への取り組み
3. ひとづくりへの取り組み
4. 安心・快適・便利な地域社会への取り組み
5. 健全な行財政運営への取り組み

# 平成17年度 一般会計予算 総額

歲 入

区分	予算額	構成比(%)	前年度比(%)
市 税	22億7,955万円	11.2	▲ 0.3
地 方 譲 与 税	4億3,700万円	2.2	55.5
利 子 割 交 付 金	1,600万円	0.1	▲21.0
配 当 割 交 付 金	万円	0.0	▲80.0
株式等譲渡所得割交付金	万円	0.0	▲80.0
地方消費税交付金	3億4,870万円	1.7	20.5
自動車取得税交付金	9,100万円	0.4	▲ 2.9
国有提供施設等所在市町村助成交付金	2,633万円	0.1	0.0
地 方 特 例 交 付 金	5,500万円	0.3	4.5
地 方 交 付 税	95億2,000万円	47.0	11.2
交通安全対策特別交付金	582万円	0.0	▲ 0.9
分担金及び負担金	1億6,238万円	0.8	▲18.5
使用料及び手数料	4億8,799万円	2.4	▲ 1.6
国 庫 支 出 金	22億9,252万円	11.3	59.7
県 支 出 金	8億1,623万円	4.0	▲23.2
財 産 収 入	1,363万円	0.1	▲87.1
寄 附 金	751万円	0.0	▲11.9
繰 入 金	1億6,560万円	0.8	▲66.3
繰 越 金	1億5,000万円	0.8	64.7
諸 収 入	5億6,494万円	2.8	▲ 9.6
地 方 債	28億3,780万円	14.0	▲ 2.0
歳 入 合 計	202億7,800万円	100.0	6.6

# 歳出

区分	予算額	構成比(%)	前年度比(%)
議会費	3億4,566万円	1.7	▲11.4
総務費	28億3,649万円	14.0	7.8
民生費	51億2,495万円	25.2	31.4
衛生費	14億5,884万円	7.2	2.9
労働費	1,650万円	0.1	▲41.7
農林水産業費	17億6,847万円	8.7	▲14.1
商工費	2億2,502万円	1.1	78.2
土木費	14億5,906万円	7.2	▲8.9
消防費	12億0,937万円	6.0	▲6.3
教育費	29億1,522万円	14.4	9.5
災害復旧費	213万円	0.0	248.4
公債費	28億9,629万円	14.3	0.1
予備費	2,000万円	0.1	▲17.1
歳出合計	202億7,800万円	100.0	6.6

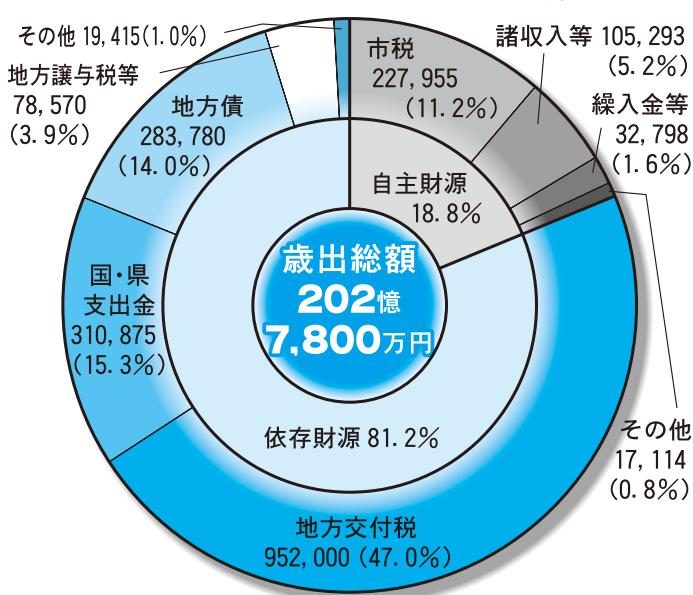
市が自主的に収入することができる財源で、市税や保育料・住民票等の「使用料・手数料」、自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できるとされている。歳入合計の18・8%を占めている。

**【依存財源】**

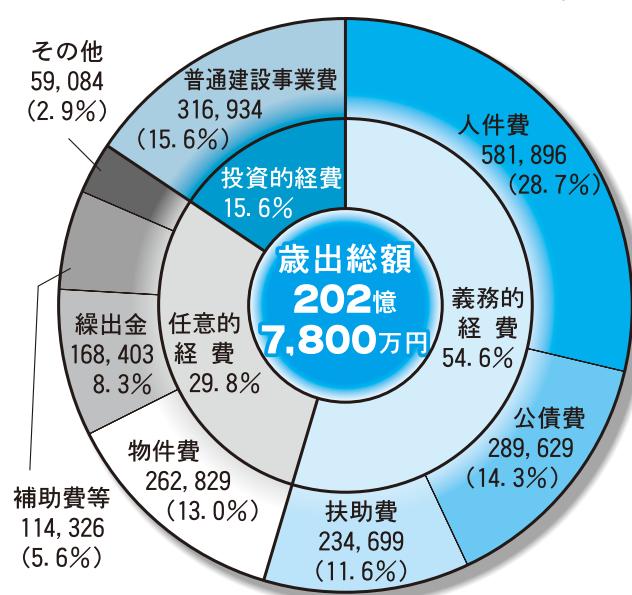
地方交付税や国・県支出金など、国や県の意思決定に基づき各自治体に交付される財源。

歳入合計の81・2%を占めている。

歲 入



## 性質別歲出



# 「5つの約束」主要施策

ク 据付工事

## 農業構造確立支援事業費補助金

7、417千円

1

### 全国的「つがる」への取り組み

【経済部】

#### つがる市農産物ブランド化推進会議補助金

8、418千円

消費者に信頼されることにより、他産地  
農産物と比較して有利な地位を築き、  
農家所得の向上や魅力ある農村地域  
づくりを実現するため、ブランド化  
推進会議が行う事業に対する補助金

です。今年度事業として、ポスター・  
カレンダー等の製作をはじめ、推進  
計画の策定・PR活動等を行うもの  
です。

#### 競争力強化生産総合対策事業補助金

107、250千円

つがる市ブランドの品質の良いり  
んごの出荷が可能となるりんご選果  
機に対する補助金です。国庫補助50  
%、市が25%補助するものです。

#### 教育委員会

#### 石神遺跡出土品保存修理委託事業

4、305千円

国重要文化財のうち痛みの激しい  
土器や貸し出し要望の多い土器を専  
門業者に委託して、文化財の保護、  
活用に役立てる。

#### 埋蔵文化財発掘事業

26、982千円

#### 地域水産物供給基盤整備事業

100、000千円

車力漁港西防波堤61m、消波ブロック

- ・石神遺跡発掘調査
- ・牛潟（2）遺跡発掘調査
- ・筒木坂屏風山遺跡発掘調査

## 稲垣中学校建設事業

521、822千円

## スポーツ振興助成事業

10、237千円

つがる市体育協会をはじめ、各ス  
ポーツ団体や青森県民体育大会参加  
派遣等に対する助成です

## コンバイン購入に対する補助金です。

## 農業構造確立支援事業費補助金

5、494千円

### ひとづくりへの取り組み

#### 農業振興への取り組み

#### つがる市農産物ブランド化推進会議補助金

8、417千円

#### 野菜用製氷貯氷設備設置事業補助金

7、000千円

有力な転作作物であるブロッコリー  
の作付け拡大を図り、品質保持のた  
めの設備投資に対する補助金です。

#### 土づくり対策事業補助金

10、500千円

有機農業拡大のため、稲垣農業開  
発公社が行う堆肥製造、運搬に対す  
る補助金です。

#### 統合小学校建設事業

733、834千円

市制施行により指導課を設置し、  
今後指導主事の増員を図り、学校經  
営を充実させる。

#### 福祉部関係団体に対する補助金

18、054千円

つがる市社会福祉協議会やシル  
バー人材センター、老人クラブに対  
する補助金です。

#### 高齢福祉対策事業委託費

95、691千円

在宅介護支援センターの運営やは  
のぼのコミュニティ21事業をはじ  
めとする各種事業、運営委託等の費  
用です。

#### 身体障害者福祉対策事業委託費

2、041千円



林地区に建設中の統合小学校

### 3 ひとづくりへの取り組み

#### 姉妹都市交流・バス市交流推進費

5、494千円

#### （仮称）姉妹都市交流協会設立や北 海道白老町・千葉県柏市・アメリカ 合衆国メイン州バス市との交流に係 る経費です。

#### 教育委員会

#### 指導課準備室の設置事業

47、036千円

生活交通路線、地域生活路線、廢  
止路線代替バス維持に係る補助です。

#### 総務部

#### 路線バス補助金

9、700千円

「すまいのプラザ」の維持管理運営  
費です。

### 4 安心・快適・便利な 地域社会への取り組み

#### 【財政部】

5、600千円

#### 【財政部】

42、837千円

「すまいのプラザ」の維持管理運営  
費です。

#### 【総務部】

#### 交通安全施設整備費

5、600千円

生活交通路線、地域生活路線、廢  
止路線代替バス維持に係る補助です。

ビス事業等の事業委託の費用です。

#### 身体・知的・精神障害者福祉対策事業扶助費

512、535千円

障害者施設訓練等支援や、地域生活援助、医療給付費等の費用です。

#### 車力ウェルネスセンター改修工事費

18、000千円

施設の老朽化が著しいため改修工事を行うものです。

#### 下車力保健福祉館建設費

81、525千円



完成した下車力保健福祉館

計の委託を実施するものです。

#### 【民生部】

3、000千円

#### ごみ処理基本計画作成委託事業

度からの長期計画（15年）を策定するものです。

一般廃棄物処理に関し、平成18年度から15年を策定するものです。

#### 塵芥処理事業

91、847千円

一般廃棄物の収集・運搬・分別やリサイクル等に係る業務委託の費用です。

#### 一般廃棄物最終処分場閉鎖事業

35、450千円

柏最終処分場が満杯になったことにより同処分場を閉鎖する工事等です。

#### 【経済部】 つがる市商工会補助金

12、000千円

#### つがる地球村駐車場整備事業

13、600千円

藤山邸隣接地を舗装し、宿泊者等施設の利便性の向上を図るもので

#### つがる市まつり協賛会に対する補助金

19、500千円

第3子以降の1子につき祝金20万円を支給するものです。

#### 福祉事務所費

1、196、460千円

市制施行により、新たに旧柏村役場内に設置された福祉事務所費です。

#### 健康増進施設整備事業

1、275千円

稲垣地区にある西部クリーンセンター周辺に温泉利用型健康増進施設の整備をするため、今年度は基本設

合併処理浄化槽費 4、428千円

住宅の改築により合併処理浄化槽を設置する場合に補助をするもので

す。

#### 市道台帳作成基礎調査業務委託事業

5、000千円

市道台帳を整備するための基礎調査を行うものです。

#### 雪寒地域道路事業

30、000千円

蓮花田農田線防雪柵工事

#### 都市公園整備事業

48、160千円

平成14年度、19年度までの6カ年

#### 道路維持・新設改良事業

35、450千円

事業。つがる地球村オートキャンプ

場増設整備事業

#### 岩木川下流堤防除草委託事業

117、500千円

市道維持、新設改良工事です。

#### 河川維持のための岩木川下流（下車

力／柏桑野木田）の堤防除草の委託。

#### 公営住宅等建設整備事業

21、856千円

第2若緑団地用地取得造成、第2

若緑団地10戸（森田）、屏風山2号團

地2戸（車力）、牛潟団地4戸（車力）、

富范2号団地2戸（車力）、かしわ・

浅井団地16戸（柏）

#### 【消防本部】 消防ポンプ自動車購入事業

40、000千円

森田分署に配備するポンプ車1台

を整備します。

#### 消防ポンプ付積載車購入事業

4、300千円

出来島地区の分団にポンプ付積載車を1台整備します。

#### 越水コミュニティ消防センター建設事業

54、075千円

救急救命に有効な除細動器4台を

整備します。

#### 健全な行財政運営への取り組み

3、120千円

議会広報の発行 2、380千円

年4回発行し、市内全世帯に配布します。

#### 【総務部】 行政改革推進委員会の設置

691千円

つがる市の行政改革の推進について必要な事項を調査、審議する。

#### 【財政部】 議会広報の発行

8、087千円

住民意向調査を行い、総合計画策定審議会を経て、つがる市の長期計画を策定します。

#### 合併振興基金積立金

288、000千円

合併特例債による新市の地域振興のために造成する基金です。

#### 【税金部】 収納嘱託員の設置

2、280千円

市税・保険料・使用料等の収納を行います。



されております。

問 松橋勝利委員

前回の定例会において審議された暫定予算と本予算の関係について

答 山本財政部長

暫定予算に計上されたものについては、全て本予算に組み込まれております。

問 外崎 栄委員

扶助費の内容について

答 成田福祉事務所長

生活保護の受給者世帯数等については、6月1日現在、世帯数は、490世帯、保護人員が654人となっております。扶助費財源については、4分3の国庫補助があり、歳入で約7億円計上されております。4分の1は、交付税の対象となっております。

問 秋元栄治委員

健康増進施設整備事業の計画について

答 外崎民生部長

稲垣地区西部クリーンセンター周辺への健康増進施設を計画しており、設計するための委託料です。健康増進施設を建設していくに当たって、地域住民の声を反映し、住民全ての方の賛成の元に計画を進めたいかないと考えております。

問 工藤 蕤委員

患者輸送運行費について

答 神成人病センター事務局長

現在、成人病センターへの患者輸送については、木造、柏の6路線を

2台のバスで運行しており、運行されてない地域について、4月に調査しましたが、病院内の体制等を検討しなければならないので、しばらく時間を頂きたいと思います。

問 高橋静造委員

つがる地球村の経営内容と出資金の増額について

答 対馬経済部長

つがる地球村の経営に関しては単年度で利益を生じている会社であり、株主については、合併により旧森田村からつがる市が株主となり、みちのく銀行、青森銀行、旧森田の建設協会、青森信用金庫、宮坂ボリマ一、旧森田村長の佐藤助役、旧森田村助役の木村良博氏の計8名、株数にして200株、1株5万円ですので、1千円ということがあります。地球村の出資については、施設の老朽化に伴い設備の修理及び運転資金も併せて有効的に活用するための増資であります。今回新株発行額を500万円で計画し、その中の300万円を市から、残りの200万円については、合併を契機に一体感をもって行政を進める観点から、幅広く株主を募集して、参画して貰う狙いがあります。

問 高橋静造委員

主要施策ブランド化における農業振興費の予算計上の内容について

答 福島市長、対馬経済部長

農業を基幹産業とするつがる市の農林水産業費の構成比が8・7%と

なっておりますが、特にブランド化の推進については、本年度700万円を計上しているところです。来年度から、各事業、対策を推進していくことから、予算規模は伸びると考えております。また、ブランド化推進については、全国へ通年を通しての出荷を目指し、生産者の育成にも力を注ぎたいと考えております。

問 外崎 栄委員

土木費の予算の中に都市計画についての予算がほとんど載ってませんが、

つがる市発展のため工業団地、住宅団地、商業団地などを整備し、また、木造駅前・駅裏の開発を進める必要があると考えるが？

答 福島市長

つがる市になりまして、建設計画の下、住宅区域、商業区域、工業区域と貼り付けていく訳ですが、今後の市の発展を考える場合、長期総合計画も作成しなければなりませんので、そういうことも勘案し、駅裏開発なども進めて参りたいと考えております。

問 齊藤 進委員

稲垣地区堆肥センターに係る予算について

答 対馬経済部長

原子燃料サイクル特別対策事業の補助による土づくり対策事業費は小麦の転作者に対して、堆肥と運搬費の助成、堆肥センター公社への貸付金については、運転資金として、ま

た、稲垣堆肥センター費については、光熱水費等の管理費の一部に充当しております。来年度以降の予算につきましては、有機質の必要性も十分認識しております。また、市内3つの施設をフル活動して土づくりに励んで、来年度以降も予算要求をしたいと考えております。



稲垣堆肥センター

問 松橋勝利委員

水産業振興計画の委託内容について

答 対馬経済部長

水産業振興計画については、国において平成18年度に次期水産業計画の見直し作業が行われるため、平成17年度中につがる市水産振興計画を策定するものです。計画内容については、十分漁民の声を聞きながら計画に反映させたいと考えております。

問 佐藤仙人委員

総合的な学習時間の内容等について

答 小林教育長、半田教育次長

内容については各学校において計

画し、要望に応じて配分する形になつております。この総合的な学習は、自分で課題を見つけ、児童生徒個々の判断で、解決していく力をつけていくというもので、教科書にない違う形の学力を身につけるためのものであります。一例を申し上げますと、社会での体験学習という形で会社訪問等の総合学習ということを行っております。

3月末に閉校となることから、県との関係もありますが、検討したいと考えております。

#### 議案第36号平成17年度土地取得特別会計予算案から議案第43号平成17年度

国民健康保険病院会計予算案までの審査における、委員からの質疑等、主なものを報告します。

#### 職員定数の適正化計画について

長谷川総務部長

職員の適正化計画については、10年間で約200名の職員の減、これは、類似団体五所川原市、黒石市を参考しております。平成17年～26年までに、294名の実退職者であります。

退職者による職員補充については、前年度の退職職員の2割、単年度で4名程度の新規採用を計画しております。

#### 青森県民駅伝大会について

青森県民駅伝大会について  
森田地区を主会場とするつがる市民マラソンで選手選考し、つがる市として、参加する予定です。

工事発注に伴う業者選定については、公正公平に進めて参りたいと思います。

#### 福島市長

松橋勝利委員

市としては、収納課の収納嘱託員

市としては、収納課の収納嘱託員を活用し、市として徴収が困難な世帯については、滞納整理組合を活用して、互いに役割を考え、連携をとりながら取り組んでいきたいと考えております。

#### 山本財政部長

松橋勝利委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞納整理組合と連携し、公平公正な税行

政確保のため、重点的に滞納整理に取り組み、歳出については、限られた財源の中で住民が求める事業に対して、効率的な予算配分がされているかどうかについて議論がなされました。

#### 高橋静造委員

最後に、予算特別委員会、全委員より、来年度以降の予算編成についても、自主財源である税収の確保、市全体としての創意工夫による経費節減に取り組むよう要請がありました。

## ■ 特別会計の質疑応答

期限内は、1,000分の25、年内納付は、1,000分の7となつております。また組合に2千円、世帯300円の事務的な補助をしております。

出産育児一時金には、出産祝金は含まれておらず、あくまでも出産に対する補助金であります。

#### 職員定数の適正化計画について

宮本哲雄委員

議案第36号平成17年度土地取得特別会計予算案から議案第43号平成17年度

国民健康保険税の滞納処分について

#### 松橋勝利委員

松橋勝利委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

納整理組合と連携し、公平公正な税行

#### 山本財政部長

松橋勝利委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 山本財政部長

山本財政部長

以上のように、予算特別委員の中で

は、さまざまな質疑応答がなされ歳入においては、市税の収納率向上のため、収納課の体制強化を図るとともに、滞

#### 高橋静造委員

高橋静造委員

以上のように、予算特別委員の中で

# 一般質問ここが聞きたい

つがる市議会の一般質問（質問と答弁を要約したもの）を通告順に紹介していきます。

問

福島市長

国際化に向けて更なる研鑽を積んで頂き、政策方針決定の場で力量を發揮できるよう、職員を海外視察研修に派遣することについて

子会・職員を海外研修に派遣することについて  
田正・先生方の机上ででの仕事量の軽減について

彦会・旧町村地域の下水道整備率、加入率及び今後の計画について  
山芳・口和今后の計画について

治会・救急救命「気管内挿管」について  
元豊・自動体外式除細動器AEDについて  
秋稻Dについて

答

福島市長

小規模の町村では、専門分野での選任、専門職の確保が困難とされていましたが、合併に伴い多くの職員を有することとなり、確保が可能というふうになりました。ご指摘の国際化に向けた職員の育成、個性ある行政政策の展開には、職員の海外視察は不可欠なものと考えております。本年度からいろいろな制度や機会を利用して派遣することとし、本年度は青森県市町村振興協会が行う欧州、ヨーロッパ地域への2週間程度の海外研修事業に、市の職員を派遣する予定をしているところです。また、今後もこのような制度や機会を利用し、継続的に職員の派遣及び中学生のホームステイ等、国際交流事業を推進し、国際化に向けた街づくりを開拓していくたいと考えております。

問

小林教育長

先生方の机上ででの仕事量を軽減し、その分、子供と接する時間に充てる事ができないか

学校には、法令で定められている校務、学級運営を円滑にする校務等、毎日しなければならない仕事から、週ごと、月ごとにやらなければならない仕事があり、その校務を効率的に行うため、それぞれ分掌して担当している訳ですが、教育委員会としても、学校の負担を軽減すればならない校務があり、そのため指示等をできるだけ控え、校長の責任と裁量で円滑な運営ができるようお願いしているところです。今後さらに、仕事の効率化を図り、子供との接する時間が確保できるよう工夫していきたいと考えております。

答

福島市長、坂本建設部長

旧町村地域の下水道、集落排水事業の進捗率、加入率及び今後の計画について

嶋田消防長

つがる消防署における気管内挿管の認定された救急救命士、養成中の方は何名いるのか。また、成人病センターで気管内挿管の患者実習は可能か

答

柏、稲垣を除いた旧3町村で策定している汚水処理構想に基づいて計画的に整備していきたいと考えております。

現時点での計画では、11月には、西北病院において病院研修に入りますが、第1に当該施設長並びに麻酔科の長が実習の受け入れを承認していること。第2に日本麻酔科学会認定専門医が麻酔科の長としている。以上の2点が必要条件となっており、当成人病センターには現在、麻酔科がなく、認定専門医がないため実施できない状況にあります。

問

嶋田消防長、小林教育長

公共施設職員、また、一般、中高生対象の除細動器AEDに関する講習会を実施できないものか

現在、消防本部で実施しております救急救命講習会では実施しておりませんが、非医療従事者によるAEDの使用が可能となつた事を受け消防本部としましても、つがる市独自の応急手当の普及啓発活動の推進に関する計画を策定して、早い時期に実施したいと考えております。消防本部の計画に従い学校では、養護教諭に講習を受けさせたいと考えております。

# ここが聞きたい



仁属義橋  
所無・行政問題について

問

公共的温泉、車力のウェルネスセンター、柏のじょっぱり温泉、木造のしゃこちゃん温泉等の施設の値段を一律にし、どこの温泉でも入れる共通券を発行することができないのか

答

高橋 福祉部長

公共施設の温泉についてですが、統一した金額・利用券にできないか、という事だと思いますが、現在、旧4町村においては、大体似かよった施設となっております。ただ、1ヵ所老人福祉センターの中の温泉という事で、使用内容、規模、設備等からいって若干違いがあり、金額・利用券の統一化という事は非常に望ましいのですが、もう少し慎重に検討させて頂きたいと思います。

問 つがる市の平成18年度の県に対する重点要望事項は、どのようになっているのか

答 福島市長

平成18年度のつがる市から県に対する重点事項、要望説明会は7月に予定されており、最重点要望事項でございますが、1点目にブランド化の推進、2点目に土地改良事業にかかる農家負担の軽減対策について、3点目は、高規格幹線道路等の整備促進、4点目に温泉利用型健康施設整備について、でございます。



仁属谷無  
所無・ゴミ最終処分場について

問

旧町村のゴミ最終処分場の状況と家庭ゴミの減量化対策とゴミの分別収集の統一及び今後の最終処分場の計画について

答 福島市長、外崎民生部長

地区処分場は平成18年度、森田地区処分場は、平成21年度に埋め立て終了の見込みであります。したがいまして、木造・稻垣処分場に順次、車力、木造・稻垣処分場の稼動年次が計画より4年ほど短縮され平成25年までと予測しております。

最終処分場の計画策定につきましては、地元説明会等の年度を含め、完成までに7年間の時間を要することから、来年度中にも建設予定地を決定し、平成19年度より地元説明会等の作業に着手する必要があると考えております。

ゴミの分別収集については、住民サービスに大きな変化を生じさせないということで従来どおりとしております。しかし、市としての一体性及び住民サービスの公平性を考慮しながらゴミの排出に関しては、統一すべきものと考えており、現在、次の3点について検討しております。

- 1、「分別の種類」
- 2、「収集回数」
- 3、「指定袋」

これらを同じサービス水準に統一し、できれば来年度から統一の方向で実施したいと考えております。



木直光佐々木  
所無・農業政策について

問

農産物のブランド化に対して、今までの取り組みと今後のスケジュール、方針について

答 福島市長、対馬経済部長

ブランド化については、4月にブランド化推進会議を立ち上げたところでございます。この会議の中で、基本方針、推進体制、推進項目などについて協議をして、つがるブランドの推進に取り組んでいくこととしたところです。

今後のスケジュールとしては、幹事会を開き、さらには、農業者組織も交えた委員会を開催して、企画立案、個別実行プランなどについて検討し、推進計画書の策定、販売店などへのPR活動や地産地消の推進を重点的に取り組んでいく予定であります。また、つがる市の農産物の認知度向上を図るため、マーケティング戦略、イメージ戦略、品質向上対策など5カ年計画で取り組んでいく所存であります。

問 鶴山団地、岸田団地の解体と跡地利用について

答 坂本建設部長

当該団地は、平成5年に立て替えの推進する方針を策定しまして、13年度、14年度に実施計画の説明会を開催し、入居希望者を優先的にかしわ団地、浅井団地に入居させて、全入居者が撤去したところでございます。

建物の解体と跡地利用の計画については、施設の管理維持の上でも、空家の状態で放置することは防犯上、あるいは火災等が危惧され、早急に解体すべきものと考えておりますが、財政上の問題等もありますので、敷地等の管理については、巡回しながら管理に万全を期し、補助事業を活用して解体工事を実施し、跡地利用については、慎重に検討したいと考えております。

# 一般質問

問 水稲、畑作、野菜の生育状況と農事情報について

答 福島市長、対馬経済部長  
水稻については、田植えの遅れもあり、全般的に4、5日の遅れとなっており、りんごについては、主力品種のふじで35%小さく、収穫は、小玉傾向が予想されます。スイカ、メロン一般野菜については、定植準備作業の遅れにより、育苗日数が長期化したため、5日程度の遅れとなっています。

農事情報につきましては、県の普及指導室でホームページに農事情報を掲載しており、直接市町村への情報提供はされていないという状況になります。広報無線を使い農事情報を流すことについては、これまで台風が来るとか、急な低温等についても広報無線を使用していますが、通常の農事情報については、ホームページでお知らせしており、今後もそういう場合に限り、使うことになるかと思います。

問 稲垣町沖善津、木造出崎間に防雪柵を設置することができないか  
答 坂本建設部長  
この路線は雪寒指定道路にもなっておりますので、今後策定される総合計画の中で検討されると思いますが、前向きに検討していきたいと考えております。



問 小、中学校のプールの現状と旧木造町民プールの現状等について

答 半田教育次長  
教育民生常任委員会で、稻垣・車力地区の小学校を視察し、プールは屋外という事で非常に痛んでおりました。基本的には少ない予算の中で学校と相談しながら、補修できるものは補修してすべて利用するという事で考えております。穂波小学校については、プールが無いという事で、夏季休み期間中には、柴田地区の子供たちは旧柴田小学校のプールを利用している現状です。町民プールについては、昭和48年に造りまして、30年以上経過し、その間、日本海中部地震等で設備等がすべて壊れるなど修理して使用してきましたが、平成14年をもって閉鎖しております。代わりに旧柴田小学校のプールを代用して使いたいと考えております。

問 越水地区の子供がプールへ通えるよう巡回バスを出すことができるか  
答 半田教育次長  
穂波小学校が建つてから5年経ち、巡回バスの件については、考えさせて頂きたいと思います。  
問 イオン柏出張所の利用状況について  
答 三浦柏支所長  
4月からの75日間のトータルで申し上げますと1、897人が利用しております。利用者は平日よりも、土日、祝日の方が多く、利用時間帯につきましては、5時から7時までの間で、8～9割の方が女性客です。買い物ついでに立ち寄れるという事で、喜びの声が寄せられている状況になっております。



問 つがる市として、観光振興をどのように進め るのか基本的な考え方について

答 福島市長  
福島市長、上正・観光振興について  
観光振興及び隣接市町村や県との連携についての基本的な考え方として、潤いと誇りに満ちた活力ある産業づくり、地域の特性を生かした観光開発としております。

平成14年には八戸まで新幹線が開業し、また五能線においては、「リゾートしらかみ」が増便され市の観光客の受け入れ態勢、観光ニーズにこたえる体制づくりが必要だと考えております。また、農業振興との整合性を図る方法として、つがるブランド、農産物の情報を発信することも必要であり、自然あるいは歴史、文化的な観光資源を利用した滞在型の観光振興を進めたいと考えております。

問 メロンを利用した観光振興について  
答 福島市長  
福島市長  
観光協会が中心となり、屏風山の中心部である広域農道を観光振興の一端として「メロンロー ド」と設定しております。車力地区から森田地区の地球村までにおいてイベントやソフト事業を展開し、誘客を進め、観光振興に取り組みたいと考えております。

# ここが聞きたい



博英所・子育て支援事業（学童保育）の現状について  
神無いて

問 つがる市の子育て支援事業（学童保育）の現状について

高橋 福祉部長

小学校の低学年を対象とした学童保育、放課後児童クラブ等が柏地区で1ヵ所（かしわっこクラブ）、木造地区で2ヵ所（ひなた児童館、つくしんぼクラブ）、森田地区では公民館を利用してのボランティアによる子供教室（すずめのおやんだ）という事で現在4ヵ所で実施されています。

また、稻垣、車力地区において、学童保育は実施されておりませんが、次世代育成支援行動計画を作成する際に調査をしたところ多くの保護者の方から低学年の児童を安心して預けられる場所がない。という意見が多くあり、このことから、子育て支援施策の一つとして、今年度、1ヵ所、増設する方針で予算計上しております。

問 消防団出動時の本署・分署の連絡網及び無線機器類について

答 福島市長、嶋田消防長

消防団の活動として、生命・財産を守るという大きな役割、責務を担っている中で、消防団の初動対応が災害の規模を大きく左右するということを認識しているところであります。合併直後で万全な体制といえませんが、消防本部及び消防団の連携の強化、防災対策本部の早期設置消防団員の人材育成等、消防防災力の強化を図りたいと考えております。

各署所間の連絡網については、インターネット回線、通信指令台の専用回線や消防無線電話機により連絡網の充実を図っております。通信機材の整備については財政当局と協議しながら計画的な更新、機材の増強を進めないと考えております。



利勝橋所・税金の滞納状況について  
松橋無・総合健診について

問 税金の滞納金額及び不納欠損金額について、また、滞納者の中に、議員や各種委員、指名業者等が含まれているのか

答 山本財政部長

15年度の町村税、国保税の不納欠損額、滞納額は、旧5町村分を合計すると町村税の不納欠損額が1,660万円、滞納額が2億7,840万円。国保税の不納欠損額が2,690万円、滞納額が4億4,420万円となっています。

滞納者の中に議員、各種委員が含まれるのか、の質問については、市で指名願を受け付ける段階で納税証明書の貼付を義務付けており指名業者に滞納者は含まれないと考えております。

その他の各委員等につきましては、範囲が広く調査が困難でありますが、一部含まれていると認識しております。

問 総合検診を40歳以上とした理由と今後の取り組みについて

答 高橋福祉部長

合併協議会の健康分科会で検討し、子宮がん検診以外は、40歳以上から実施するという申し合

わせ事項に基づき、今年度は実施しております。40歳とした根拠については、基本検診は、老人保健法の中に40歳以上の者に対し保健事業を行うという条項、あるいは厚生労働省から「がん検診実施のための指針」が出されており、その中に胃がん、肺がん及び大腸がん検診については、40歳以上を対象とする。ということに基づいて実施しているところです。

今後の取り組みについては、市民が健康で、豊かに生活できるよう健康保持、疾病の発病を予防する1次予防に重点を置き、対策を講じていきたいと考えております。



志会・屏風山幹線道路冬季閉鎖区間の除雪について  
浦和・車力地域富范33号線の道路拡幅について

問 屏風山幹線道路（メロンロード）の冬季閉鎖区間の除雪について

福島市長

車力から屏風山一帯にかけ国道101号線に続く約20kmの幹線道路、広域農道ですが、春から秋にかけ、観光や農作物の輸送と欠かせない主要道路でございます。かつて木造地域でも除雪や防雪柵も検討した経緯はありますが、多額の経費を要し、その反面事業効果が低い、ということから、除雪対象外の道路としてきました。ただ、農作物輸送の主要道路でもあり、県が進める冬の農業政策と合わせて、今後検討していくたいと思います。

富范33号線は、近年通行量が増しており、また現在建設中の第2津軽大橋が完成しますと、さらに重要な路線になると考えております。延長も4,210mと長く、今後策定する総合計画の中で検討されるものと考えています。



問 車力地域富范33号線の道路拡幅について

坂本建設部長

この路線は、平成14年に測量調査した経緯があり、毎年、県単事業の要望はしておりますが、引き続き早期着工できるよう県へ要望してまいりたいと考えております。

答 坂本建設部長

この路線は、平成14年に測量調査した経緯があり、毎年、県単事業の要望はしておりますが、引き続き早期着工できるよう県へ要望してまいりたいと考えております。

問 車力富范・薄市線の防雪柵について

この路線は、平成14年に測量調査した経緯があり、毎年、県単事業の要望はしておりますが、引き続き早期着工できるよう県へ要望してまいりたいと考えております。

# 一般質問



人属  
・市営住宅整備事業について  
藤所  
・合併特例債について  
佐無

問 今後の市営住宅整備事業の計画について

答 福島市長、坂本建設部長

若者の定住策として、本年度も34戸の整備を計画しており、今後もマスタープランに基づいて計画的に整備を進めたいと考えております。

また、木造桜木、若緑団地も相当年月が経っておりますので、立て替えも合わせて進めていきたい、と考えております。

平成17年度以降の整備計画戸数については森田地区に40戸、柏地区に54戸、車力地区に20戸の整備をする予定です。これらの事業が完了しなければ、木造地区の住宅に着手できないことから、事業終了後に木造地区の整備を進めていきたいと考えております。

問 合併特例債の発行限度額及び今後10年間の発行予定、計画について

答 山本財政部長

合併特例債につきましては、建設事業分として10年間で189億1,000万円、基金造成分として、27億4,000万円を借り入れることができます。

今後、基金造成分は、借り入れ限度額まで借り入れ、基金積み立てしたいと考えております。建設事業分につきましては、ただ事業を張りつけるのではなく、その事業が真に市民に必要なものなのか、また、後年度の公債費負担の増を考慮しながら利用したいと考えております。

さらに今、総合計画の策定の事務作業を進めておりますので、その中で、活用する事業について具体的に検討したいと考えております。



直則会  
・成人病センターの存続について  
学病院へ搬送できる体制をつくり、成人病セ  
ンターの改築をすべきと思うが  
福島市長

問 道路整備を行い、1時間以内に患者を県病大  
学病院へ搬送できる体制をつくり、成人病セ  
ンターの改築をすべきと思うが

答 福島市長

西北五自治圏自治体病院再編計画で、成人病センターは、6年後に内科を中心とした初期医療を担うベッドを持たない診療所という計画で進められております。しかし、住民の成人病センターの機能存続を求める声が大きいため、今後も病院としての存続に向け、関係機関に働きかけてまいりますと、もし中核病院ができれば県病、大学病院へ搬送しなくてもいいという事で、引き続き高規格道路や重点事項の1つでもある柏バイパス等の早期完成を働きかけていきたいと考えています。

成人病センターの改築については、築25年経過し痛みがひどく、多額の修繕費が掛かることから、自治体病院の機能再編成の推移をみながら改築、補修していくかと考えております。

問 医師不足解消に向け、奨学金制度など創設する考え方

答 福島市長、神成人病センター事務局長

ある程度高い金額の奨学金や育英資金を充て、地元の自治体病院に10年勤務すれば免除するなど、成人病センターを抱える市として検討していきたいと思います。

1人の医師を育てるために医学部であれば6年、月々15万円援助することになり、大体1人1080万円位になります。また、臨床研修制度2年、学位、博士号などの取得等で、医師を育てるためには、10年は見なければなりませんが、医師の育成は重要かと考えております。



二会  
・つがる市総合計画について  
藤正  
・第3セクターつがる地球村  
伊公  
について

問 つがる市のビジョン・方向性を示す総合計画の計画期間はいつまでか

答 福島市長

つがる市総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画で構成されており、基本構想は、10年後（2014年度）の目標とすべき将来像、目標達成のための基本的な施策の大綱を定めるものです。基本計画と実施計画の計画期間は、5年後の2009年度までを予定しています。基本計画は、基本構想の目標を達成するための具体的な施策を定めるものです。また、実施計画については、基本計画の施策の具体的な実行計画を定めるもので、計画の策定については、年内に策定できるよう鋭意努力しているところです。

問 第3セクターつがる  
地球村の現状と今後の計画について

答 対馬経済部長

地球村は、平成元年より整備がスタートしこれまでの整備に要した経費は28億1400万円となりしております。今後の計画につきましては、平成16～19年度までの4カ年計画でオートキャンプ場の整備を計画しており、全体の面積は約3・3ha、事業費については、1億7,058万円となっています。



# 一般質問ここが聞きたい



優会 優心・農政問題について  
加藤新・介護保険について

問

農家戸数及び平均耕作面積の推移、遊休地及び転作田の不耕作地の現状と対策について

答

松橋農業委員会局長、対馬經濟部長

農林業センサス1990年と2000年で比較しますと、農家数については今現在4,923戸ということで、約14%減少している状況です。また、平均耕作面積については、237aから276aへと増えているような状況でございます。遊休地については、水田が155ha、畑が43haという状況でございます。

転作田の不耕作地については、旧町村にそれぞれ協議会がありまして、転作に絡むさまざま取り決めをしております。一例を挙げますと旧車力では、転作田の不耕作地については、本人に通告をして何かしら作付けしてもらう、という方法をとっておりますが、もう一度、秋に確認を行いますので、転作をしてない水田については、国の奨励金や補助金の対象外となりますし、他の転作者にも影響がございますので、各地区的協議会を通じ強く指導してまいりたいと考えております。

問 介護保険の未納者数と金額について

答

高橋福祉部長

平成16年度分の見込みを含め、未納者は298人、総額1,424万1,557円となる見込みです。時効については、2年で時効ということになります。ただ、時效になった場合サービスを受ける際にさまざまな不利益を被ることから、そうならぬよう周知し、また、保険料が納められない事情等があった場合には、いろんな猶予もありますので市役所等へ相談していただきたいと思います。

## 全員協議会

市長招集の全員協議会が、6月17日本会議終了後に開催され、市当局から

- 平成17年度一般会計予算（案）等について
- ・姉妹都市・国際交流事業について
- ・市有財産の処分の件について

の3点について説明がありました。

平成17年度一般会計予算（案）等については、予算特別委員会17名の審査となることから、全議員に対し、17年度予算編成の考え方並びに具体的な施策、取り組みについて説明がなされ、

また、交流事業については、千葉県「柏市」、北海道「白老町」、アメリカ・メーン州「バス市」と協議した結果、全ての相手先が交流を希望していることの報告等が議員にされ、今後のスケジュールや予算（案）についてさまざまな意見等が出されました。

平成17年6月17日に採決を行い同意されました。

つがる西北五広域連合議会の規約の変更（議案第45号）に伴い、議員2名の選挙を最終日に行いました。

選挙の結果 三戸 昭男議員（柏）  
小寺 正之議員（車力）

の2名が選任されました。

## 選挙の結果

## 諮詢第1号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件

人権擁護委員が、平成17年9月30日をもって満了となるため、後任の委員の推薦について意見を求めるため諮詢するものです。

つがる市柏桑野木田福井 满氏  
平成17年6月17日に採決を行い、適任と認め再任されました。

## 人事案件

議案第44号  
筒木坂財産区管理委員の選任につき同意を求めるの件

筒木坂財産区管理委員の任期が平成17年6月23日をもって満了となるため、後任の委員の選任について同意を求めるものであります。

つがる市木造筒木坂松本 三橋 康宏 氏  
三橋 美也 氏  
勝 氏

つがる市木造筒木坂松本 三橋 康宏 氏  
三橋 美也 氏  
勝 氏  
工藤 寛 幸 氏  
武彦 氏  
氏

## 追加議案

議案第47号  
つがる市農業委員会の選挙による委員の選挙区及び各選挙区の定数条例案

農業委員会の選挙による委員については、合併協議会において1年間の在任特例、そして定数30名、5選挙区にするということを確認しており、今年の3月31日の選挙人名簿が確定たので、それをもとに定数を定めたものです。

選挙区	選挙区の区域	委員定数
第1選挙区	木造地区	14人
第2選挙区	森田地区	4人
第3選挙区	柏地区	3人
第4選挙区	稻垣地区	4人
第5選挙区	車力地区	5人

# 常任委員会の審査

## 建設常任委員会

条例の一部改正1件

経済常任委員会  
請願1件、陳情1件

教育民生常任委員会  
陳情2件  
教育民生常任委員会  
請願1件、陳情1件

総務常任委員会  
条例1件  
条例の一部改正4件  
規約の変更4件  
その他2件

この条例は、越水地区に建設を進めおりました、つがる市越水地区農業集落排水施設が平成17年3月に完成したことに伴い、条例の一部を改正しましたので、当該施設の名称、位置、処理区域及び使用料を定めるものです。本件につきましては、全員異議なく承認すべきものと決定いたしました。

## □ 経済常任委員会

請願第1号

### 地域経済の活性化等を求める請願について

請願の趣旨は、今、必要なのは雇用の維持と創出、失業者支援などの政策を積極的に進め、景気回復を図り、地域経済を活性化等の政策を強く求める旨の意見書を要請するというものです。

当委員会としては、国は地域経済の活性化を図るために、地方に対し、積極的な政策を開拓すべきであるとの見解から、採択の結果、全会一致をもって採択すべきものと決定いたしました。

陳情第1号  
公務員給与の地域間格差導入に関する陳情について  
陳情の趣旨は、政府は、三位一体改

## □ 建設常任委員会

「農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例」1件について慎重な審議を行いました。

この条例は、越水地区に建設を進めたり給与構造の見直しの導入することによって、国から地方、地方から民間へと賃金低下の連鎖をもたらし、地方

自治体の税収不足に拍車をかけることにつながることから地域経済を疲弊させる公務員賃金への地域間格差の導入を行うべきでない旨の意見書を要請するというものです。

当委員会としては、義務教育費無償の原則、教育の機会均等、教育水準の維持向上の原則に基づいて、国が必要な経費は負担をするべきであるとの見解から、採択の結果、全会一致をもって採択すべきものと決定いたしました。

当委員会としては、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める旨の意見書を要請するというものです。

当委員会としては、義務教育費国庫負担制度に係る交付金の割合の基礎は何か

問 笹田 保委員  
答 小林 教育長

教職員の標準定数によるものでその定数は子供の数によるものです。

答 小林 教育長

この2件は、ほぼ同様の趣旨の内容であるという点から、一括審査を行いました。

## □ 総務常任委員会

報告第29号

### つがる市税条例の一部を改正する条例案について

地方税法等の改正に伴い、個人の市民税、所得割の非課税の範囲から年齢65歳以上の者を削る改正です。

陳情の趣旨は、義務教育費国庫負担制度は、各自治体の財政力の差によって学習権が損なわれないよう、義務教育諸学校教職員の給与等を国が2分の1負担することにより教育水準の維持向上を果たす制度であり、この制度が

廃止された場合、自主財源が十分でない地方自治体の現在の教職員配置を維持することが難しくなり、青森県の子供たちの教育環境を大幅に後退させるものである。

陳情第2号  
現行の義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情について  
陳情第3号  
義務教育費国庫負担制度維持に関する陳情について  
この2件は、ほぼ同様の趣旨の内容であるという点から、一括審査を行いました。

陳情の趣旨は、義務教育費国庫負担制度は、各自治体の財政力の差によつて学習権が損なわれないよう、義務教

育諸学校教職員の給与等を国が2分の1負担することにより教育水準の維持向上を果たす制度であり、この制度が容を報告いたします。

陳情第1号  
陳情の趣旨は、政府は、三位一体改

等割はかかっておりませんでしたが、平成18年度分から経過措置として、18年度は1千円、19年度は2千円、20年度は3千円となるものです。以上のことから、市民の方にとつては、増税になるものだと思います。

報告第30号

つがる市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例案

半島振興法第17条の地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、適用期限を延長し、半島振興対策実施地域の内、過疎地域並の要件を満たす地域における対象事業に旅館業を加える改正です。

報告第31号

つがる市過疎地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例案

過疎地域自立促進特別措置法31条の地方税の課税免除、または、不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に伴い、適用期間を延長し、取得価格要件を引き上げる改正です。

報告第33号

つがる市宅地造成事業管理基金条例案

宅地造成事業の財政の健全な運営に資するということで、基金を設置するものです。

問 松橋義仁委員

将来的に造成工事、事業計画があつて基金条例を制定したのか

答 山本財政部長

相地区において宅地造成事業を実施しており、それに伴って、将来的な公債費負担等に対する償還の財源にしたいと考えており、新たな事業は計画しております。

報告第34号

青森県市町村等非常勤職員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村等非常勤職員公務災害補償等組合規約の変更について

報告第35号

青森県消防補償等組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県消防補償等組合規約の変更について

報告第36号

青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

報告第37号

青森県交通災害共済組合規約の変更について

ついて

報告第34号から報告第37号までの4件については、いずれも市町村合併に伴う地方公共団体数の増減に伴った規約の変更をするものです。

議案第34号

つがる市特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一  
部を改正する条例案

2月11日付けで施行した本条例の中身を精査した結果、「長期総合計画審議会」を「総合計画策定審議会」に改め等、存在しない名称や記載漏れ等を

つがる西北五広域連合規約の変更について

つがる西北五広域連合は、14市町村から成立しておりますが、市町村合併に伴い、議員定数等の規約を変更するものです。

新	1、五所川原市	3名
2、つがる市	2名	
3、鰺ヶ沢町	1名	
4、深浦町	1名	
5、鶴田町	1名	
6、中泊町	1名	

以上のような議論、慎重な審査の結果、「市有財産の無償譲渡の件」については、経緯及び内容の調査が必要なことから、閉会中の継続審査と決し、他の10議案については、全員異議なく承認及び原案のとおり可決すべきものと決しました。

市有財産の無償譲渡の件について

つがる市に引き継がれた旧車力の土地をその権利者に無償譲渡するものであります。

三上日出則委員

牛舎が建っている土地や業者が入って土を売っているということを把握して

いるのか

答 山本財政部長

今指摘されたことについては、把握しておりませんでした。

無償譲渡の理由ですが、旧車力の名義にはなっておりますが、実際上の土地を利用している方、管理している方は、旧車力ではなくて、本來の所有者の方がこの土地を管理されていましたと聞いておりますので、名義上、旧車力ではございますが、実際の管理関係は地元の集落が從来やってきたということでしたので、特段、管理状況についてまでは、村から引き継いだつがる市においては把握をしておりませんし、実際の所

有者の方に対しまして管理状況を指示するという立場になかったというところでございます。

## ■ 請願・陳情

今定例会では、請願1件、陳情3件を審査しました。

○ 経済常任委員会付託

・ 請願1号 地域経済の活性化を求める請願書

請願者

盛徳広

紹介者

宮本哲雄議員

審査結果

採択

・ 公務員給与の地域間格差導入に関する陳情書

陳情者

「給与構造見直し」問題

青森県連絡会

審査結果

採択

・ 公務員給与の地域間格差導入に関する陳情書

陳情者

「給与構造見直し」問題

青森県連絡会

審査結果

採択

○ 教育民生常任委員会付託

・ 現行の義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情書

陳情者

日教組青森県教職員組合

・ 義務教育費国庫負担制度維持に関する陳情書

陳情者

青森県学校事務労働組合

審査結果

2件は同様の趣旨であることから一括審査し採択

### 期実現に関する意見書

「三位一体の改革」の実現を図るため、地方六団体改革案に沿った真の改革の実現を強く求めるものである。

・ 発議第6号 地方議会制度の充実強化に関する意見書

議会の執行機関に対する監視機能を強化し、自ら住民のための政策を発信するため、地方議会の権能強化及びその活性化のための抜本的な制度改正が図られるよう強く求めるものである。

・ 発議第7号 道路整備の推進に関する意見書

地方の活性化のために、重要な基盤となる道路整備の推進を強く求めるものである。

小・中学校視察研修  
(稻垣・車力地区ほか)

教育民生常任委員会では、5月27日稻垣・車力地区等の小中学校(10校)を視察研修しました。

目的としては、教育現場におけるさまざまな教育問題の現状や実態を把握し、今後の教育行政に役立てるため行つたものです。

学校の運営状況等について、各校において意見交換をしましたが、近年の少子高齢化に伴い、生徒、児童数が減少しておりできなくなるのでは、と懸念する声や教える立場の先生も専門ではない教科を連携して教えている。というような教育現場の悩みを知ることができました。

また、学校施設については、屋外にあるプール関連設備の補修・修繕に対する要望が数多くありました。

視察の内容は、今後の委員会審査における参考となり、また、当局に対する提言等にも役立てていきたいと考えております。

## □ 意見書

議員提出による意見書3件が提出され、原案のとおり可決されました

・ 発議第5号 地方六団体改革案の早

〇〇〇についての請願(陳情)		
紹介議員 〇〇〇〇印 (陳情は紹介議員不要)		
(趣旨) .....	.....	.....
平成 年 月 日	.....	.....
請願(陳情)者 住所.....	.....	.....
氏名 印	.....	.....
電話.....		
つがる市議会議長あて		

## 委員会の活動



牛潟小学校



下繁田小学校

# 議会視察

秋田県・岩手県から視察に来庁

7月7日 秋田県角館町議会議員  
7月13日 岩手県安代町議会議員  
つがる市を訪れ、在任期間中の議会運営や委員会機構など、議会に関する行政視察に訪れます。

安代町議会視察



角館町議会視察



両町とも合併（鹿角町は9月20日に仙北市に、安代町は9月1日に八幡平市）を控えており、成田議長の説明を熱心に聴いておりました。

5月	
6	第2回市議会だより編集委員会
10	青森県市議会議長会定期総会
12	豪雪による被災農家の救済についての要望書の提出
15	「棟方志功展」開会式
18	青森県鉄道整備促進期成会総会
	青森県新幹線整備促進期成会総会
23	つがる市商工会第1回通常総代会（副議長）
24	青森県市議会議長会・県選出国会議員との懇談会（東京）
	木造町老人クラブ連合会総会（副議長）
25	全国市議会議長会第81回定期総会（東京）
27	青森県高規格道路建設促進期成会総会（副議長）
29	教育民生常任委員会視察研修
	第3回手作り演歌発表会（副議長）
6月	
2	西北身体障害者福祉連合会定期総会（副議長）
3	三位一体改革セミナー
8	つがる市老人クラブ連合会設立総会（副議長）
10	社会福祉協議会木造地区福祉活動推進員研修会
14	議会運営委員会
15	県知事の高品質りんご生産に係る現地調査
16	みちのく銀行木造支店わかば会総会
	社会福祉協議会森田地区福祉推進委員会（副議長）
17	第2回定例会（～30日）
23	予算特別委員会（～27日）
24	つがる市防犯協会定期総会
26	観閲式
28	常任委員会（建設、経済、教育民生、総務）
7月	
5	中泊町誕生記念式典並びに祝賀会
7	秋田県角館町議会行政視察来庁
8	つがる市長杯ゲートボール大会（副議長）
	つがる市メロンロード看板除幕式（副議長）
10	車力分屯基地開庁25周年記念行事
11	主要地方道屏風山内真部線完成促進期成同盟会総会
13	岩手県安代町議会行政視察来庁
19	「社会を明るくする運動」パレード
20	青森銀行木造支店長歓送迎会（副議長）
23	「石田清治氏顕彰碑建立」記念祝賀会
24	上原げんと碑しのぶ会・上原げんと杯のど自慢決勝大会
	西北地区緑の少年団交流会
26	社会福祉協議会木造支所「夏まつり」
	津軽地区消防団長連絡協議会総会
	バス市訪問団歓迎式（副議長）
28	きづくりネブタまつり出陣式（副議長）
29	つがる市稻垣寿大学開講式
	つがる市連合婦人会設立総会（副議長）
30	きづくりネブタ合同運行（副議長）
	「白老町」・「つがる市」姉妹都市提携調印式
31	姉妹都市提携記念歓迎セレブション
	つがる市花火大会開催セレモニー

## 敬弔

故相馬正治殿（55才）  
つがる市議会議員



謹んで哀悼の意を表し  
ご冥福をお祈りします。  
病気療養中のこと、相馬正治議員が5月24日永眠されました。これまでの、旧柏村・つがる市行政発展のためにご尽力いただきましたこと、に深く感謝いたし、ここに故相馬正治議員のご冥福を心からお祈り申し上げます。

つがる市議会

つがる市は、四季の美しさはもちろんのこと、季節の移り変わりが生み出す大地の農産物や自然が織りなす四季折々の風景等、五感で四季を感じることのできる自然豊かな市です。  
「市議会だより」もそんなすばらしい四季を感じるような紙面づくりと思い、今後、各号の配色を代えて作っていきたいと考えております。

内容についても、読みやすい、読まれる「議会だより」にしたいと思いますので、皆さんのご意見をお聞かせ頂ければと思っており

## 編集後記